## 諸外国における水銀規制に関する調査

項目		排出基準値 (µg/Nm³)											
		日本		EU		ドイツ		米国*1		中国*2		カナダ	
		新規	既存	新規	既存	新規	既存	新規	既存	新規	既存	新規	既存
石炭火力発電所		8~10	10~15	(年平均) 1~5 大規模の場合(連続)年平 均:1~4	(年平均) 1~10 大規模の場合 (連 統) ;1~7	(連続) 1日平均;20 年平均;1~2	(連続) 年平均;4~10	(連続又はトラッ ブ) 約0.5~7.0	(連続又はトラッ ブ) 約1.9~7.0	30	11	(連続)年平均3~15 又は75~85%の捕 集率	水銀捕集率を国全 体で80%以上
産業用石炭燃焼ポイラー								約1.4~39	約9.5~39	50	"	-	-
非鉄金属 一次施設 非鉄金属 二次施設	銅	15	50	(年平均)又は (連続) 10 ~50	〃 (新規と同一)	(連続) 1日平均;10 又は0.05g/h	ŋ	案:約0.44g/h (主要発生源)	案:約1.95g/h (主要発生源)	12	n	1g/(金属製品総生 産量)t	2g/(金属製品総生 産量)t
	工業金							-	-	-	-	-	-
	亜鉛	30								50	n	0.2g/(金属製品総生 産量)t	2g/(金属製品総生 産量)t
	<b>出</b> 對					(連続)1日平均;	n n		-	-	-	-	-
	銅	100				50							
	<b>≱</b> 11					(連続) 1日平均;10 又は0.05g/h		-					
	亜鉛												
	工業金	30	50										
廃棄物焼却施設等	一般廃棄物焼却施設	30	50	(連続) 1日平均又は3測定平均; <5~20、	"	(連続) 30分平均;50、 1日平均;30	(連続) 30分平均;50、 1日平均;30 年平均;10(熱投入量 50MW超)	約54~86 又は水銀排出削減 率85%	n	50	η	約22* <sup>3</sup>	η
	産業廃棄物焼却施設*4			2~4週間平均;1~10	η	年平均;10		約0.6~15	約0.6~140		n	約22~55*³	n
	下水汚泥焼却施設			-	-	-	-	約1.1~161	n	-	-	約76* <sup>3</sup>	n
	水銀含有汚泥等の焼却炉等	50	100										
セメント製造施設	廃棄物を投入	50	80 (~140)	(連続) 1日平均又は3測定平均; <5~20、 2~4週間平均;1~10	n	(連続) 30分平均;50 1日平均;30 遵守困難施設: 30分平均;100 1日平均;50	η	約129 (及び有害物投入 制限1.9 ppmw)	約129 (及び有害物投入 制限3.0 ppmw)	50	η	-	-
	クリンカ製造施設			< 50	n	(連続) 30 遵守困難施設:50 (1日平均)	η	9.5kg/クリンカ100万t	約24.9kg/クリンカ100 万t	50	'n	-	-

\*1:単位換算方法 (石炭火力発電所・産業用石炭燃焼ポイラー)理論燃焼時の投入熱量あたり排ガス量9,780 dscf/MMBtu、米国における代表的な発電効率34%とし、1 dscf(dry standard cubic foot) = 0.02832 m³、1 dscm(dry standard cubic meter) = 0.931741 Nm³で換算。

理論燃焼時の投入熱量あたり排ガス量としては、Method 19で示されているF-factorを利用した。(出典:http://www3.epa.gov/ttn/atw/utility/a1\_egu\_mact\_floor\_memo\_121611.pdf)(参照2023-2-21)

(廃棄物焼却施設) 1 dscm(20°C、1気圧の大気)= 0.931741 Nm3として換算。dscm: dry standard cubic meter, http://toolkit.pops.int/Publish/Annexes/A\_06\_Annex06.html (セメントクリンカ) 1 lb = 0.45359237 kgとして換算。

\*2:排ガスの測定方法は冷原子吸光光度法

\*3: Rm3 (25°C、1気圧の大気) = 0.916107 Nm3として換算。

\*4:有害廃棄物・医療系廃棄物も含む

・赤字:連続測定

・「〃」:新規施設と同一

・「-」:規制なし

・単位記載のないものは(μg/Nm³)。

・施設規模等の条件で複数の基準値がある場合は範囲で記載。